

令和2年度 一般社団法人 長崎県障害者スポーツ協会 事業報告

I. はじめに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、長崎県障害者スポーツ大会をはじめ、多くの事業が中止を余儀なくされましたが、本協会の設立目的に沿い、障害者の健康体力の維持増進のための指導体制を整備し、障害者スポーツのなお一層の普及振興を図ることを目的として、障害者の社会参加推進の要となる諸事業に取り組みました。

さらに、近年、障害者スポーツを取り巻く国の施策、社会環境の変化に対応することを目的に、公益財団法人長崎県スポーツ協会（旧：県体協）へ加盟し、組織の活動のなかで加盟団体との連携を図り、県民障害者スポーツのさらなる普及強化を促進しました。

一方、組織強化の基盤作りを目的に「福祉販売」、「テーマ募金」などの事業も積極的に推進しました。

II. 総 括

1. 会 議

(1) 総 会

令和2年6月21日（日）長崎県総合福祉センター 5階 大会議室

- ・定款の改定について
- ・令和元年度事業報告について
- ・令和元年度収支決算報告について
- ・令和2年度事業計画について
- ・令和2年度収支予算について
- ・役員改選について

以上の件、それぞれ決定・承認されました。

(2) 理 事 会

第1回理事会 令和2年5月18日（月）

- ・令和元年度事業報告・収支決算報告・総会付議事項について

第2回理事会 令和2年6月21日（日）

- ・役員選定について

第3回理事会 令和3年3月19日（金）

- ・規定の改正について
- ・令和2年度収支補正予算（案）・令和3年度事業計画（案）・収支予算（案）

- ・令和2年度長崎県障害者スポーツ協会表彰について
 - ・総会付議事項について
- 以上の件、それぞれ決定・承認されました。

(3) 正副会長会

第1回正副会長会 令和2年5月12日(火)

- ・令和2年度第1回理事会提案事項について協議しました。

第2回正副会長会 令和3年2月26日(金)

- ・令和2年度第3回理事会提案事項について協議しました。

Ⅲ. 実施事業

1. 第20回長崎県障害者スポーツ大会の開催(受託事業)

◎ 目 的

共生社会の実現に向け、ノーマライゼーションの理念のもと障害者スポーツを振興し、障害のある人のスポーツ活動の日常化と競技力の向上を図るとともに、より積極的社会参加と生活の質の向上に資することを目的とします。

(1) 開催中止

新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するため、県内主要大会、イベント等の開催が中止されるなか、本感染症に関わる社会的状況を総合的に勘案し、開催を中止しました。令和2年3月30日(月)主催者である長崎県の大会中止の通知を受け、関係機関に開催中止を通知しました。

(2) 競技種目・参加選手数(申込時の参加選手数)

競技会場	競技種目	参加者数
トランスコスモスタジアム長崎	陸 上	392名
県立総合運動公園補助競技場	フライングディスク	234名
長崎県立総合体育館	卓 球	81名
諫早市中央体育館	ボ ッ チ ャ	138名
諫早市中央体育館	ユニカール	55名
大村市アーチェリー場	アーチェリー	7名
長崎東公園コミュニティプール	水 泳	79名
長崎ラッキーボウル	ボウリング	314名
	計	1,300名

2. 全国障害者スポーツ大会選手団強化練習及び派遣事業（受託事業）

◎ 目 的

障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典である本大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とします。

（１）開催延期

「第20回全国障害者スポーツ大会」が10月24日（土）～26日（月）の3日間、鹿児島県において「燃ゆる感動かごしま大会」として開催される予定でしたが新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から開催が令和5年度に延期されました。

本県の対応は、個人競技の選考会を兼ねる「長崎県障害者スポーツ大会」の開催を中止したものの、全国大会への長崎県代表選手選考会は6月5日（金）に実施しました。

選考の基準は、昨年の「茨城大会」中止により派遣が途絶えた選手の参加意向を優先し、今回中止となった第19回長崎県障害者スポーツ大会の個人参加申込書で「全国大会参加希望あり」の選手うち第19回県大会の成績を参考に推薦されました。

団体競技は、「茨城大会」九州ブロック地区予選会で全国大会出場権を獲得していました、聴覚バレーボール（男子）、ソフトボール（知的）チームの派遣が内定していました。

3. 障害者スポーツ普及・活性化事業（受託事業）

◎ 目 的

障害者がスポーツを楽しみ、交流の場をもうけ、健康な明るい生活が促進できることを目的に、スポーツ・レクリエーション教室や競技力向上支援等の取組みを行いました。

（１）障害者スポーツ人材バンク

障害者スポーツ指導者を登録する「障害者スポーツ人材バンク」の運営及びさらなる活用に向けたPR活動を行い、障害者スポーツの活性化を図りました。

① 障害者スポーツ人材バンクの運営

- ・「障害者スポーツ人材バンク」に10名が登録しました。（現在101名）

② 制度周知のためのPR活動

- ・スポーツ・レクリエーション教室及び、普及活動等の中で、「障害者スポーツ人材バンク」制度を紹介し、地域スポーツ活動での派遣要請を説明しました。
- ・登録者の中から、各地域に出向いて活動できる人材を「障害者スポーツ普

及指導員」として、長崎県障がい者スポーツ指導者協議会から推薦をえた7名を委嘱し、年間を通して活動しました。

・「長崎県障害者スポーツ指導員」をスポーツ・レクリエーション教室等に派遣しました。

(障害者スポーツ普及指導員)・・・10カ所に延べ12名派遣

(人材バンク)・・・・・・・・・・2カ所に延べ 2名派遣

(競技指導者)・・・・・・・・・・1カ所に延べ 1名派遣

【派遣状況計】・・・・・・・・・・10カ所に延べ15名派遣

(2) 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催

障害者スポーツの裾野を広げる取組みとして、地域団体、施設、特別支援学校等を調査し、スポーツ教室の実施を要請されるところに積極的に出向き、スポーツに取り組む楽しさと継続を指導しました。

① 普及研修会の開催状況・・・1カ所 21名参加

・障害者スポーツ・レクリエーション教室を実施していくうえで、指導員等を対象とした研修会を実施しました。

② 普及活動の開催状況・・・・・・・・8カ所 370名参加

・従来のスポーツ教室やイベントの中で障害者スポーツを紹介して、体験していただきました。

③ 普及教室の開催状況・・・・・・・・3カ所 81名参加

・依頼があった施設などでスポーツ・レクリエーション教室を行いました。

(3) 各団体競技チーム等の競技力向上のための支援

① 団体競技の更なる振興・強化を図るために「競技力向上の支援」を行いました。

② 団体競技の強化取組みに係わる経費を助成しました。

4. 東京パラリンピック等アスリート特別強化事業（受託事業）

◎ 目 的

本県在住の、東京パラリンピックやデフリンピックに向けて出場が期待される選手が、JPC 加盟競技団体が指定する国内外の各種大会、強化合宿に参加するために必要な遠征等に対して支援を行いました。

(1) 本年度の支援対象の実績

助成選手名	競技種目	成 果
太田 歩美	卓球競技	◆パラ FID ジャパン・チャンピオンシップ卓球大会 2020（第23回） ・女子シングルス決勝トーナメント ベスト4

5. 障害者スポーツ振興事業

(1) 地域スポーツ交流事業

- ・ 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催事業参加人数 延べ84名
- ・ 令和2年度 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催報告

No	開催月日	開催地区	会 場	実 施 種 目	参加者
1	10月27日(火)	島原市	島原市有明体育場	ボッチャ	46
2	12月10日(木)	対馬市	豊玉総合運動公園体育館	ボッチャ・フロッカー フライングディスク	18
3	3月13日(土)	新上五島町	新上五島町総合福祉センター	ボッチャ	20

※例年約17カ所の地域で皆さんが集い、楽しいスポーツ教室を開催しています。
本年度は開催申請をされたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の状況が厳しくなり、3地域以外の開催はすべて中止となりました。

(2) 障害者スポーツ指導員養成事業

◆障害者スポーツ指導員(初級)養成講習会の開催

日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員制度の規程に基づき開催しました。

- ① 開催日：令和3年3月6日(土)・7日(日)・13日(土)
- ② 開催場所：三菱重工総合体育館・障害者交流室
- ③ 受講者数：8名
- ④ 研修科目：講義【21時間】

	研 修 科 目	時間
3月 6日(土)	障がい者スポーツ推進の取り組み	1.5
	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	1.5
	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫	2.5
	障がいのある人との交流	1.5
3月 7日(日)	コミュニケーションスキルの基礎	1.5
	障がいスポーツに関する諸施策	1.5
	障がい者スポーツの意義と理念	1.5
	全国障害者スポーツ大会の概要	2.0
3月 13日(土)	各障がいの理解とスポーツ	6.0
	安全管理	1.5
	合計	21

◆障害者スポーツ指導員の育成

日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員を地域スポーツ教室及び普及事業等への指導者として派遣しました。

(3) 障害者スポーツに関する調査研究事業

◆各県障害者スポーツ協会の概要を調査しました。

◆例年開催される次の会議は、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策に鑑み開催が中止となりました。

1. 障がい者スポーツ九州ブロック連絡協議会
2. 全国障がい者スポーツ三者会議

(4) 障害者スポーツ活動等支援事業

◆令和2年度長崎県障害者スポーツ協会表彰

令和3年2月26日(金)、令和2年度の長崎県障害者スポーツ協会被表彰者の審査会において、永年にわたり本県障害者スポーツの普及・強化にご尽力いただいた1企業に特別功労賞を4名の方に功労賞を1名の方に優秀指導者賞を、また、本年度国内の主要な大会で顕著な成績を収めた3名の方に優秀選手賞を授与する推薦を行い、3月19日(金)開催の第3回理事会において承認されました。

【スポーツ特別功労賞】

- ・株式会社九州ガスホールディングス：高額のご寄贈による

【スポーツ功労賞】

- ・小松原 務：聴覚女子バレーボール競技における永年の功労による
- ・三村 均：知的ボウリング競技における永年の功労による
- ・中島 信政：車椅子バスケットボール競技における永年の功労による
- ・伊藤 圭：知的フットベースボール競技における永年の功労による

【スポーツ優秀指導者賞】

- ・井川 繁美：陸上競技の指導における永年の功績による

【スポーツ優秀選手賞】

- ・太田 歩美：【三菱重工長崎】(卓球競技)
パラ FID ジャパン・チャンピオンシップ2020卓球大会
- ・木村 勇聖：【(株)LINE】(陸上競技：車椅子)
大分車いすマラソン2020

- ・臼木 大悟：【県立希望が丘高等特別支援学校】（陸上競技）
令和2年度長崎県高等学校新人体育大会
令和2年度全九州高等学校体育大会

（5）広報・公聴事業

① 協会だより等の発行

- ・協会だより 29号、30号を発行（各 1,300 部）
- ・ホームページの随時更新

主な内容

1. 県大会・全国大会・東京パラリンピック等に関する情報、報告など
2. 登録団体の活動情報、報告など
3. 地域における障害者スポーツの情報、報告など
4. 各種のお知らせ

② 各種報道機関に障害者スポーツ選手の情報提供

地元報道機関に積極的に障害者スポーツの情報を提供し、多くの県民に障害者スポーツ選手の活躍状況を周知しました。

IV. 物品販売事業の推進（福祉販売）

本協会は障害者スポーツの振興による障害者の社会参加促進に取り組んでおり、自己財源確保及び本協会正会員団体の活動費を確保するため、福祉販売を取りくみました。

売り上げ実績

【単位：円】

販売団体	総売上額	団体販売手数料	協会手数料
会員18団体	1,330,400 円	309,260 円	379,080 円
スポーツ協会	359,500 円	—	105,450 円
計	1,689,900 円	309,260 円	484,530 円

※協会手数料には商品代の消費税等を含む

V. 障害者スポーツ活動等振興助成事業

- ◆障害者スポーツ振興助成要綱に基づき申請された、3団体5事業に対し、各種大会への派遣事業及び開催事業に助成しました。
- ◆団体競技10チームに活動費を助成しました。

VI. 赤い羽根募金「テーマ募金」

(1) 報告

- ① 「九州ガスホールディングス杯 2020 長崎県障がい者ボッチャ大会」開催
初の協会主催として実施し、114名の参加で、盛大に開催しました。
- ② アスリート活動
知的バスケットボール競技強化指定選手の九州合宿参加経費を助成しました。
- ③ 競技用具購入
地域スポーツ振興の為、競技が盛んなボッチャ競技の用具（ボールセット、ランプ）を購入しました。

「テーマ募金」活用助成金内訳

【単位：円】

	助成事業名	事業総経費	テーマ募金
1	九州ガスホールディングス杯 2020 長崎県障がい者ボッチャ大会開催	546,881 円	432,881 円
2	アスリート活動	90,000 円	90,000 円
3	ボッチャ競技等用具購入他	238,360 円	238,360 円
	計	875,241 円	761,241 円

(2) 取り組み

令和2年度赤い羽根募金（令和3年度助成）テーマ募金（使途選択募金）へ昨年に引続き参加した。多くの方のご理解とご協力を得て、初期の目標額を達成しました。

事業名：障害者スポーツ普及強化事業

活動概要：・東京パラリンピック2020に参加が期待されるトップアスリートへの活動支援
・団体競技の強化支援や全国障害者スポーツ大会に参加する選手団への活動支援
・障害者のスポーツ活動の場を広げる大会の開催
・地域における障害者スポーツ啓発活動の促進事業推進
・障害者スポーツ競技に必要な用器具の補充購入

募集期間：令和3年1月1日（金）～3月31日（水）

目標額：1,000,000円

募金金額：1,558,284円（45件）

（参考：昨年）1,449,512円（30件）

Ⅶ. その他の事業

(1) 障害者スポーツ協会・賛助会員の増員について

本協会の組織強化、事業充実を図るため、自己財源確保を目的に賛助会員の増員に取り組みました。

◆令和2年度の賛助会員数

- ・団体賛助会員・・・・・・・・・・24【6団体増】
- ・個人賛助会員・・・・・・・・・・523【2名増】

(内：特別支援学校 12校：486名の教職員)

(2) 障害者スポーツ用具の貸し出しについて

本協会管理のスポーツ用具を貸し出し、障害者スポーツの普及に役立てました。

競技用具	借用回数	借用団体
ボッチャ	21	長崎県スポーツ振興課ほか
フライングディスク	6	県立川棚特別支援学校ほか
車いす（競技用）	2	長与町社会福祉協議会ほか
スラローム	1	こころ医療福祉専門学校
卓球バレー	1	こころ医療福祉専門学校